

2004年3月12日  
ユーシーカード株式会社

**ユニセフから7年連続で感謝状贈呈  
UCカードグループ、ポイントプログラム「UC にここにプレゼント」  
を通じたユニセフへの寄付金額が1億3,000万円を突破**

ユーシーカード株式会社（以下、UCカード 本社：東京都港区 社長：上杉純雄）を始めとするUCカードグループ39社が、ポイントプログラム「UC にここにプレゼント2003」を通じて行った財団法人日本ユニセフ協会（以下、ユニセフ 所在地：東京都港区 専務理事：東郷良尚氏）への寄付金額が「ユニセフポストカード」による協力を含め合計1千100万円を超え、1989年の活動開始以降2003年11月までの累計で1億3千万円を突破いたしました。

これに伴い、3月10日、ユニセフの専務理事東郷良尚氏がUCカードに来社され、「UC にここにプレゼント2003」による寄付活動に対し、UCカード社長の上杉純雄に感謝状が贈呈されました。UCカードグループはユニセフから7年連続で感謝状を贈呈されています。



2004年3月10日 東京・港区のUCカード本社で  
右：財団法人日本ユニセフ協会 専務理事 東郷 良尚氏  
左：ユーシーカード株式会社 代表取締役社長 上杉 純雄

UCカードグループでは、1989年にポイントプログラム「UCにここにこプレゼント」の賞品として「ユニセフポストカード」の取扱いを開始、ポストカード定価の約5割をユニセフに寄付する活動を始めました。さらに、1996年には会員様からお申し込みいただいたポイントを1ポイント単位で寄付できる仕組みを構築（※1）、1ポイントを5円に換算しユニセフに寄付する活動を行ってまいりました。この仕組みにより獲得したポイントを有効に寄付に充てることのできるようになっております。

※1：ポイント交換の申し込みは200ポイント以上です。

今般、UCカードが集計した「UCにここにこプレゼント2003」を通じたユニセフへの寄付金額（2002年12月から2003年11月までの寄付分）は、「ユニセフポストカード」によるものを含め合計1千100万円を超えました。3月10日、ユニセフの専務理事東郷良尚氏がUCカードに来社され、この活動に対してUCカード社長の上杉純雄に感謝状が贈呈されました。

UCカードグループでは、これらの活動の他にも、「UCにここにこプレゼント」を通じた寄付活動を幅広く行っております。2002年12月には、財団法人日本フォスター・プラン協会、財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF）、社団法人国土緑化推進機構の3団体への寄付活動も開始し、世界の教育・文化・環境活動への支援をさらに強化しております。UCカードグループは今後もクレジットカードを通じた社会貢献活動を積極的に実施してまいります。

以上

## 【UCカードグループの社会貢献活動の概要】

1. UCにここにこプレゼント	
内容	①ユニセフポストカードセット（200ポイント）－1989年12月より実施 ユニセフオリジナルのポストカードセット（2種類・計20枚）。定価の約5割が、ユニセフによる開発途上国の子どもたちへの援助資金となる。
	②ユニセフへ寄付（200ポイント～）－1996年12月より実施 1ポイントを5円に換算して、ユニセフによる開発途上国の子どもたちへの支援活動に寄付する。1ポイント単位での申し込みが可能。
	③フォスター・プランへ寄付（200ポイント～）－2002年12月より実施 1ポイントを5円に換算して、国際援助団体フォスター・プランによる開発途上国の子どもたちへの支援活動に寄付する。1ポイント単位での申し込みが可能。
	④WWFへ寄付（200ポイント～）－2002年12月より実施 1ポイントを5円に換算して、WWF（世界自然保護基金）による地球環境保護活動に寄付する。1ポイント単位での申し込みが可能。
	⑤国土緑化推進機構へ寄付（200ポイント～）－2002年12月より実施 1ポイントを5円に換算して、社団法人国土緑化推進機構による、さまざまな森林づくり活動に寄付する。1ポイント単位での申し込みが可能。
2. ユニセフ「マンスリーサポート・プログラム」－2000年9月より実施	
内容	UCカード会員の決済口座から、カード利用代金と同時に毎月一定金額を引き落とし、ユニセフへ寄付するプログラム。寄付金は開発途上国の子どもたちへの支援活動に役立てられる。

UCにここにこプレゼント … UCカードのポイントプログラム。カード利用1000円につき1ポイントを付与し、貯まったポイントを賞品と交換できる。